

平成22年度  
大学職員情報化研究講習会  
グループ討議

C班 KJグループ

青山学院大学 桶本 みさよ  
大阪電気通信大学 小脇 知也  
京都産業大学 菊池 麻美  
金城学院大学 足立 洋子  
高千穂大学 北田 大介  
東京情報大学 高橋 雄介  
名古屋学院大学 小西 崇之

タイトル

そのとき学生は気づいた!!

発表キーワード

『気づき』・『一元化』・『即戦力』

『経費削減』・『情報活用・共有』

# 大学の持つ問題点とは？

- 各部署間での連携(共有)ができていない。
- 業務上得た情報を担当課が(のみが)保有している。
- 教員の求める情報をリアルタイムで提供できていない。
- 学生サービスの提供には待ち時間を要する。

具体的には？？

## 具体的問題点とは？

### 共有

- ・他部署の業務がわからない
- ・留学生の就職状況を聞かれる
- ・学生の生活状況について
- ・学生の就職率、入学状況の把握
- ・他大学の情報を把握できていない

・・・etc

### 活用

- ・学生の個人情報を複数課に提出させている
- ・学生の進路状況データを求められる
- ・教員が担当している学生の修学状況の把握
- ・教員・他部署への学籍情報の開示
- ・教室利用状況開示

・・・etc

連携

### 公開

- ・学校基本調査(MEXT)
- ・学校基礎調査(事業団)
- ・法人実態調査(MEXT)
- ・各種調査への回答

情報の共有・  
活用が必要！

解決策！

システムの『一元管理化』が必要

## 『一元管理化』のメリット(教職員)

- 各部署間での連携が円滑にできる  
ex) 業務スピード向上
- 部署間での多重記録の廃止ができる  
ex) 学生課・・・学生基本情報  
教務課・・・成績情報  
就職課・・・就職情報
- 一貫性のある学生指導ができる  
ex) 学生へのサービスの平準化

省力化・無駄削減をした時間で  
『学生サービスの向上』へ繋げる

# 『一元管理化』のメリット(学生側)

- リアルタイムに確認できる  
ex) 出席状況、履修登録の確認
- 待ち時間を減らせる  
ex) 窓口対応の遅延
- 履修登録などの簡素化  
ex) 紙からwebへ

学生たちの自主性を養う  
↓  
『気づき』を喚起させる

## まとめ

### 《学生》

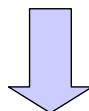
学生たちに『気づき』を喚起させる

- ・主体性
- ・自己管理能力
- ・計画力
- ・行動力
- ・各種資格取得 etc...

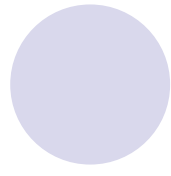
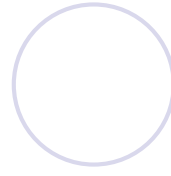
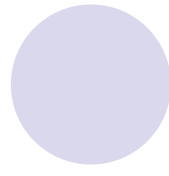
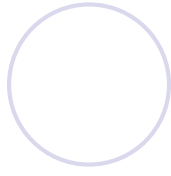
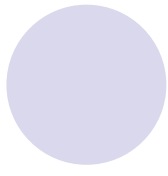
### 《教職員》

業務が省力化された分を  
中身の濃い学生サポートへ

補助



社会に貢献できる人材の輩出



ご清聴ありがとうございました